

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 東美濃歴史街道観光振興事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光国際部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

電話番号：058-272-1111(内3934)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,350 千円 (前年度予算額： 13,850 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,850	6,850	0	0	0	0	0	0	7,000
要求額	14,350	6,850	0	0	0	0	0	0	7,500
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成29年7月に、リニア中央新幹線開業を見据えて、県とリニア沿線7市町の行政・観光団体により、広域観光推進組織「東美濃歴史街道協議会」が発足した。本協議会において、東美濃エリアの広域的な周遊滞在、観光消費額のさらなる増加を図るため、広域周遊事業、特産品振興事業、情報発信・プロモーション事業等を実施する。

(2) 事業内容

- ①東美濃観光歴史街道協議会負担金
- ②首都圏のターゲット層に向けた観光資源の開発、磨き上げ及びプロモーション

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・令和4年度分から、県：市町＝1：1となるように負担率の見直しを行った。
(県負担金：10,400千円)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	審査委員謝金
旅費	568	費用弁償、職員旅費
消耗品費	25	事務費
役務費	25	事務費
委託料	3,300	観光資源開発・磨き上げ事業
負担金	10,400	協議会負担金
合計	14,350	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興

④ 観光産業の基幹産業化

岐阜県成長・雇用戦略

【6】観光産業の基幹産業化プロジェクト

(2) 事業主体及びその妥当性

県及び関係7市町が連携して広域的な観光振興に取り組むため実施することが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「東美濃歴史街道」エリアにおいて、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。

- 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり
- 主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション
- 世界に選ばれる観光地づくり

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		2,702億円	2,900億円	3,100億円	3,600億円	75.1%
②観光入込客数 (実数)		4,263万人	4,750万人	4,800万人	5,300万人	80.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>○取組内容 令和2年9月より観光パスポート事業を実施した。 実施期間：令和2年9月1日（土）～令和3年2月28日（日） 実施規模：発給施設：79施設 参加施設：378施設</p> <p>○前年度の成果 従来の紙パスポートに加えてアプリ版を導入し、多くの方に東美濃エリアの周遊を促すことができた。 (R2実績) ・パスポート発給数：（紙）13,129冊 （アプリ）2,943人 ・応募者：945件 ・周遊動向：平均で県内応募者は約4日間、県外応募者は約3日間来訪</p>
令和3年度	<p>○取組内容 令和3年7月より観光パスポート事業を実施した。 実施期間：令和3年7月1日（木）～令和4年2月28日（月） 実施規模：発給施設：63施設 参加施設：310施設</p> <p>○前年度の成果 紙版とアプリ版の合計発給数・応募者数が増加するとともに、平均滞在日数が微増し、東美濃エリアの周遊・滞在を促すことができた。 (R3実績) ・パスポート発給数：（紙）24,000冊 （アプリ）1,500人 ・応募者：1,002件 ・周遊動向：平均で県内応募者は約4日間、県外応募者は約3日間来訪</p>

指標① 目標：1,900億円 実績：1,721億円 達成率：90.6 %

令和4年度	○取組内容 首都圏における東美濃地域の認知度等の調査を実施した。 ・実地調査 回答数 313 ・インターネット調査 回答数 1,400 ○成果 令和5年度以降の事業実施にあたっての基礎資料となるデータを収集した。
	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	リニア開業を見据えた7市町沿線の広域連携事業のモデルの取組みであり、県が主体的に進める必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	「東美濃観光基礎調査」により、首都圏における東美濃エリア認知度等を把握し、協議会事業の効率的な実施につなげることができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	7市町の行政・観光協会の協力を得て事業を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 本事業の成果を継続的に実施できる体制づくり
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和4年度実施のリニア開業に向けた基礎調査の結果を活用したプロモーション、周遊促進企画を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	